

房州アルプス ハイキング報告

【山域】千葉県・房総半島【日程と天気】2017年1月15日 晴れ

【メンバー】CL加藤・菅井・斎藤（一）・村尾・堀田

【行程】

清和県民の森キャンプ場一車1台林道鹿原線駐車スペースに駐車（下山地点）一車1台日吉神社付近に駐車 ハイキング開始（11：00）—257ピーク—分岐（11：40）—内台入口（12：00）休憩（20分間）—分岐（12：32）—267ピーク（無実山むじつやま）—地獄覗き—神社分岐—志駒愛宕山訶具都智神社（13：34）—神社分岐（13：49）休憩（7分間）—房州アルプス入口—林道鹿原線駐車スペース（14：16）



山行前日より、清和県民の森・ロッジ村で開催されていた「千葉県勤労者山岳連盟 創立50周年交流集会」終了後、加藤CLの呼びかけに集まった5名での山行でした。

前日の「雪」とは打って変わって気持ちの良い「晴天」の中 ハイキング開始。（11：00）

↓

当初予定していた駐車場が利用出来ず、他のスペースに駐車した為なのか、予定とは違った林道を歩く。

↓

荒れた竹藪・急な斜面・途切れる踏み跡。 想像していた山行と違い、早くも「何だか面白い事になってきた！！」



荒れた竹藪



ワクワクする尾根

↓

- 一歩ずつ冷静沈着にパーティを誘導する 加藤CL
 - 豊かな経験と知識で楽しみながらもルートを見定める 菅井氏
 - 現在地と当初のルートの差を確実に把握しようとする 斎藤氏
 - 変なルートにワクワクの 堀田
 - 後方で安全確認をしながらも 上記の4名を観て笑う 村尾氏
- 人間は「五人五色」である・・・

↓

道中 動物の糞らしき物を発見。

堀田「何だこれ？」

斎藤氏「キョンの糞だよ」

堀田「キョンってなんだ??・・・」 [調べてみた](#)



←かわいい

※キョン＝中国原産でシカ科の外来種（体長 70～100cm、肩高 40～50cm、体重 10～15kg）
千葉県における推定生息数は2007年度の約3400頭に対し、14年度末で10倍超の約4万700頭に上っている。野生のキョンが目撃されるようになったのは、勝浦市の動植物園「行川（なめがわ）アイランド」（2001年閉園）から脱走した為とみられる。

↓

252mピーク⇒分岐（11:40）⇒水仙畑を経て 内台入口（12:00）わくわくルートの修正完了。
20分程度の休憩

↓

267mピーク（無実山むじつやま）気になる・・・調べてみた

※山名の由来として、かつて源頼朝がこの道を馬に乗って通過中、椎の実が頭に当たって激怒『花は咲いても実はなるな』と椎の木に八つ当たり、以来この山の椎は実がなくなった」という伝説。椎の木は源頼朝を傷つける意図はなく無実であり、それ以降この山を「無実山（むじつやま）」と呼ぶようになったとか

↓

展望抜群の小高いピーク⇒露岩のテラス⇒地獄覗き を経て神社分岐へ到着。

朽ちて解読不能の標識の前で、神社の方角を検討する一行。

標識正面にある岩峰の上（ピラピラと紙がみえる）&登れない階段が気になる堀田・・・我慢である・・・
通り掛かりのハンターに道を教えて頂き神社方向へ進む。

因みにハンターは「猪」を3頭も捕えたそうである。有り難く食す時、散弾銃の弾をどうやって除去するのだろうか？取り忘れがあったら歯が折れたりしないのであろうか？調べてみたが関係無いので記載しない・・・

↓

志駒愛宕山叻具都智神社（13:34）「愛宕山・愛宕神社」は良く聞く社名だ。私も造園修行時代に御払いをして頂いた 京都の愛宕山が総本社なのは知っていたが・・・詳しく調べてみた

※京都市右京区の愛宕山（924m）の山頂に鎮座する愛宕神社から発祥した、火防の神に対する神道の信仰である。（愛宕信仰 あたごしんこう）愛宕山に集まった修験者によって江戸時代中頃から愛宕信仰が日本全国に広められた。日本全国で「愛宕」を社名につける神社は43都道府県に900～1000社ある。特に東北地方に多く分布する。ブレイクしたのだ。



志駒愛宕山訶具都智神社

↓

再び、神社分岐（13：49）休憩（7分間） 休憩が7分間あったので加藤CLの許可を頂き、先程より気になっていた岩峰を登ってみた。愛宕山訶具都智神社の小さな祠・しめ縄があった。



岩峰の上の小さな祠



（過去の写真）

以前は階段で登れた様である

↓

房州アルプス登山口

↓

林道鹿原線を歩いて 林道鹿原線駐車スペース (14:16) 山行終了



気持ちの良いハイク



皆さん楽しそう



富士山 (山頂が隠れてしまった・・・)



房総の山

昨年6月に「ちば山」に入会し、1度も参加していなかった私にとっては初めての山行でした。最高の天候、富士山・横浜方面の綺麗な景観、わくわくルート、地学・英語の講義。何よりもちょっと個性が強く、楽しい山行を私に与えて下さった4名の皆様にお逢い出来た事が一番の喜びです。

私と同じく幽霊会員になりそうな新入会員の方がいらしたら、是非1度だけでも参加してみてください

い。又、会員の皆様は誘ってあげて頂ければ幸いです。

最後に、楽しいハイキングを準備して下さった加藤CL、初心者の方が理解出来る様 丁寧にご指導して下さいました菅井様、本資料の作成においてもご指導 ご協力下さった村尾様、そして 初めての山行に私を誘って下さった斎藤様に心より感謝申し上げて山行報告とさせていただきます。

参考資料

マイナールート（わくわくルート）の紹介



藪山ルートを思い出し地図に記入しました。

地図上の破線は、山の中腹を登っていたようです。我々は途中から稜線に登り赤線で示した稜線上を登ったと思います。